ヤマトプロテック株式会社
ビル防災設備　プラント防災設備　避難警報設備　各種消火器

本　　社	〒108-0071	東京都港区白金台5-17-2 TEL.03-3446-7151(代)・FAX.03-3446-7160
大阪事業所	〒537-0001	大阪市東成区深江北2-1-10 TEL.06-6976-0701(代)・FAX.06-6976-0802
名古屋支社	〒461-0004	名古屋市東区葵1-1-22 KT葵ビル3F TEL.052-856-0701・FAX.052-856-0699
札幌支店	〒065-0027	札幌市東区北27条東19丁目1-1 TEL.011-780-1700・FAX.011-780-1701
仙台支店	〒984-0012	仙台市若林区六丁の目中町6-1 TEL.022-287-9531・FAX.022-287-9534
さいたま支店	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-68 TEL.048-652-1345・FAX.048-652-1321
横浜支店	〒241-0031	横浜市旭区今宿西町426-1 TEL.045-954-4411・FAX.045-954-4422
静岡支店	〒422-8005	静岡市駿河区池田231-1 TEL.054-263-0119・FAX.054-262-7741
広島支店	〒733-0005	広島市西区三滝町7-4 TEL.082-237-4625・FAX.082-239-3859
四国支店	〒791-1126	松山市大橋町202 TEL.089-963-5850・FAX.089-963-5877
福岡支店	〒812-0893	福岡市博多区那珂5-7-12 TEL.092-411-4224・FAX.092-411-4229

大阪工場・東京工場・中央研究所・関東物流センター・リサイクルセンター

●この商品についてのお問い合わせは、ご購入の販売店または当社ナビダイヤルへ…

お客様相談窓口
ナビダイヤル® **0570-080-100** 受付時間:平日9:00～17:00

※本書に掲載した商品は改良などのため、予告なく規格・仕様変更等を行うことがありますので、ご了承ください。 1305-2

業務用消火器
ご家庭には住宅用消火器を設置してください。

機械泡消火器/ファイティングフォームA（蓄圧式）
MECHANICAL FOAM FIRE EXTINGUISHER
国家検定合格品

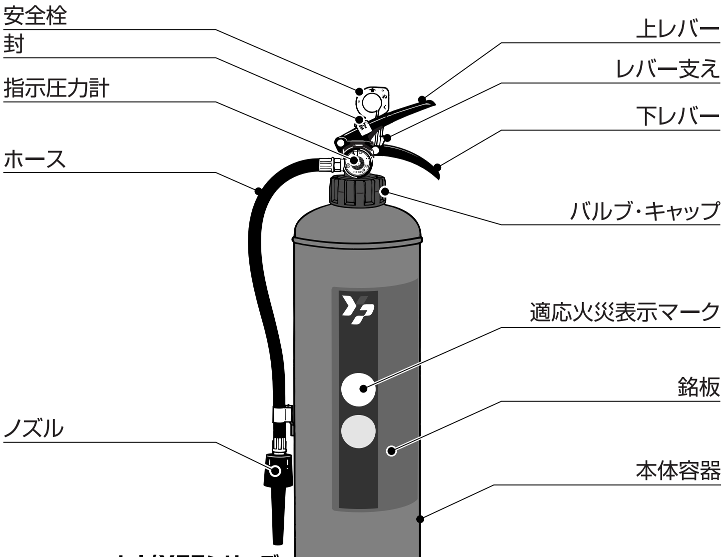
取扱説明書

当社製品をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

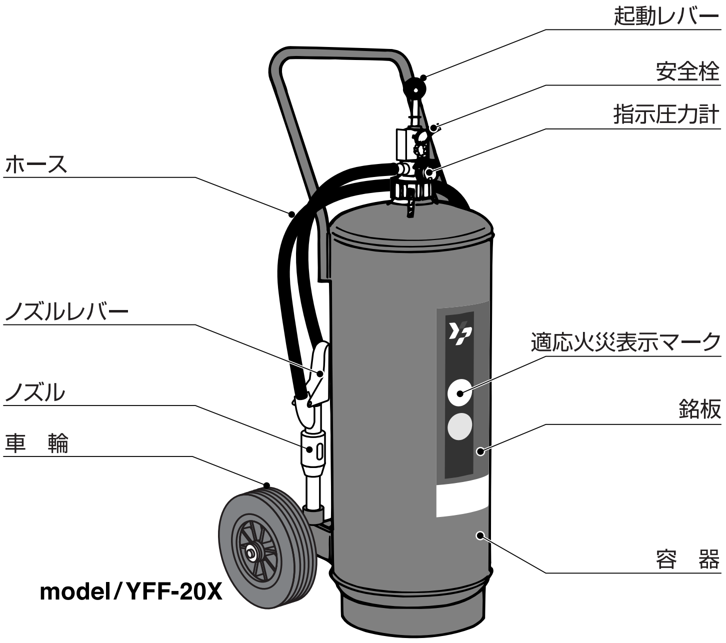
●取扱説明書は必ず読んでください。
●いつでも読めるところに保管してください。

危険防止について
消火器はすべて国家検定に合格していますが、設置条件の悪いものや年数の古いもの、あるいは、誤った取扱いなどによって事故が発生する場合があります。
この『取扱説明書』の「危険」「警告」「注意」の事項は必ず守り、身近な防災器具として、いつでも使用できる状態にしておいてください。

1 部位名称



model/YFFシリーズ



model/YFF-20X

火災は燃焼する物体の性質によって、おおよそ次の3つに分類されています。

A　火　災…木材・紙・繊維などが燃える火災。
（普通火災）

B　火　災…石油類やその他の可燃性液体、半固体油脂類などが燃える火災。
（油 火 災）

C　火　災…通電物質を含む電気による火災。
（電気火災）

◆適応火災表示マーク

普通火災用	油火災用	電気火災用
A火災	B火災	C火災
白色円のマーク	黄色円のマーク	青色円のマーク

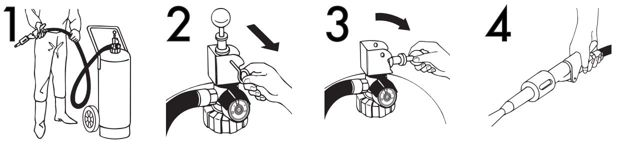
以上の3つの分類に応じて、消火器も適応火災にふさわしい使い分けをする必要があります。
つまり、防火対象物によって適応する消火器を選んで設置することが必要です。
消火器の銘板には適応火災を示すマークが明示されています。

2 操作方法

YFFシリーズ

1. 安全栓を引き抜く Pull out the safety pin.
2. ホースをはずし火元に向ける Release the hose and point the nozzle at the base of fire.
3. レバーを強くにぎる Grip the levers.

YFF-20



1. 消火器を垂直に立てホースをのばす Stand the extinguisher upright and extend the hose.
2. 安全栓を抜く Pull out safety pin.
3. 起動レバーを倒す Pull down the lever.
4. ノズルレバーを強くにぎる Grip the nozzle lever.

操作上の注意

- ●レバーを握ったまま安全栓を抜かないでください。固くて抜けにくくなります。(YFF-20を除く)
- ●ホースをしっかり持って消火の操作を行ってください。
- ●3mほど離れ、火の根元に向けて放射してください。
- ●一度消えても再着火することがありますので、最後まで消火薬剤を放射してください。

> ストップ機構付きです。レバーを離すと放射が止まりますが、そのまま放置すると圧力が漏れ使用不能となるため、最後まで放射してください。

- ●天ぷら油火災に使用すると一時的に炎が大きくなり、ヤケドの恐れがあります。炎が収まるまで3m程度の距離を保ち火元に向けて消火してください。
- ●電気火災には使用しないでください。
- ●ガスが関連した火災では、消火後すみやかに、必ずガスの元栓を閉めてください。

3 消火薬剤、及び詰め替えについて

- ●消火薬剤に著しい毒性はありません。しかし大量に人体にかかると危険な場合がありますので、ご注意ください。
- ●消火薬剤が目に入ったときは、すぐに流水で15分以上洗い流したあと、眼科医の診察を受けてください。
- ●飛散した消火薬剤をそのまま放置しておくと、金属類を腐食させることがあります。すみやかに水で洗い流して、清掃してください。
- ●消火器使用後の薬剤の詰め替えは、お求めになった販売店や当社営業所など専門の有資格者(消防設備士)によって行ってください。
- ●訓練に使用するなど、何度も詰め替えをする消火器の使用限度は10回です。それ以上詰め替えするときはキャップ、口金のネジ部が傷んで危険なことがあります。お求めになった販売店や当社営業所など専門の有資格者の判断を求めてください。

NON-PFOS
非PFOS

■環境に配慮した、非PFOS処方
国際的に規制が進んでいる、有機フッ素化合物(PFOS類)を含有しておりません。

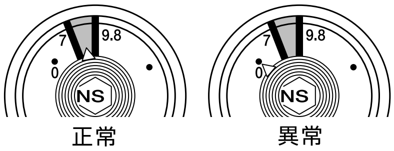
4 設置について

- ●簡単に倒れないようにして、目につきやすい場所の高さ1.5m以下に設置してください。
- ●地面に直接設置すると、サビやキズが発生したり変形の原因になりますので、設置台または格納箱をご使用ください。壁掛け金具や設置台については、販売店または当社営業所にお問い合わせください。
- ●消火器の転倒事故や誤放射を防止するために、幼児の手の届かない場所に設置してください。
- ●重量物の落下などによる強い衝撃が加わらない場所に設置してください。

5 日頃の管理

- ●試し放射はしないでください。放射後そのまま設置されますと火災の際に使用できません。
- ●一度放射されたら、ただちに消火薬剤を詰め替えてください。(3を参照)
- ●定期的に点検し、ゴミやホコリを取り除いてください。
- ●安全栓がレバー支えを立てた状態で確実にセットされ封がほどこされているかを確認してください。
- ●封のないもの、封が破れているものは専門の業者による点検が必要です。
- ●[蓄圧式]ですので、指示圧力計の指針が緑色範囲内にあるか、定期的に点検してください。

指示圧力計(ゲージ)
指針が緑色範囲内[7.0〜9.8(×10^{-1}MPa)]にあるか確認してください。



正常　異常

緑色範囲
※圧力が低下していると十分な能力が発揮されず、放射されない場合があります。

- ●消火器を清掃するときは、ぬるま湯か水でしぼった布(ぞうきんなど)で汚れをふき取ってください。水を直接かけて洗うと、すきまなどに水が入りサビや腐食の原因になることがあります。また、有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)や洗剤は使用しないでください。
- ●消火器の部品などは、勝手にゆるめたりしないでください。

*法的設置義務のあるところでは、消防法に基づく定期点検を受けてください。

6 使用上のご注意

消火器は圧力容器です

⚠危険

- ●破裂のおそれがありますので下記の項目をお守りください。
- ●錆、傷、変形、キャップのゆるみのあるものは絶対に使用しないでください。
- ●分解しないでください。廃棄の際は専門業者または記載されている電話番号にお問い合せください。

⚠警告

- ●破裂の原因や人身事故のおそれがありますので下記の項目をお守りください。
- ●半年毎に法令で定められた点検を行ってください。
- ●製造後10年を過ぎたものは、耐圧試験圧力値による水圧試験を実施してください。
- ●腐食しやすい場所、湿気の多い場所、潮風や雨風にさらされる場所に設置しないでください。
- ●濡れた床や地面に直接置かないでください。
- ●使用温度範囲を超える場所に設置しないでください。
- ●人に向けて消火薬剤を放射しないでください。呼吸困難等の危害を引き起こす恐れがあります。
- ●使用時には火元から3m以上離れてから放射を開始してください。近づきすぎると火傷の恐れがあります。
- ●避難経路を確保しながら消火してください。

⚠注意

- ●消火器は初期消火の器具です。消火範囲には限りがあります。
- ●試し放射はしないでください。使用できなくなります。
- ●一度操作したものは、新品と交換または詰替えを行ってください。
- ●適応火災は、ラベルの表示マークと「取扱説明書」で確認してください。対象物によって適・不適があります。